



本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、  
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

## >>第4回・第5回子どもの読書活動推進スキルアップ講座を開催しました。

平成28年12月8日(木)に、「伝える手段として『コミックエッセイ』を選んだワケ」と題して、イラストレーターの鈴木みき氏を講師に迎え、講座を実施しました。図書館司書や小中学校の学校司書、子どもの読書に関心を持つ38名の方の参加がありました。

カナディアンロックに登って以降、山に魅了された講師が、長野県などのスキー場や山小屋での仕事を通して、もっと若者に登山に興味を持ってほしい、安全に登山を楽しんでほしい、という思いを形にするために、コミックエッセイを出版した経緯などをお話いただきました。山が好きだという一途な思いから、イラストレーターという職業に就き、様々な人との出会いの中で、本を出版したことが分かるお話でした。また、胸を張って好きだと言えることが、何か一つあると人生は楽しいし、自分の軸ができる、という言葉は印象的でした。これからも山の魅力を様々な形で発信し、伝えていきたいとのことでした。

参加者からは、「本を出版するまでの経緯を聞くことができ、興味深かった。」「講師の人生経験がそのまま仕事になったプロセスがよく分かった。仕事に対する姿勢について、参考になった」などの感想が寄せられました。

平成29年1月26日(木)には、「なぜ主人公は年をとらないのか?—物語と時間の不思議な関係—」と題して、大阪市立大学教授の石田佐恵子氏を講師に迎え、講座を実施しました。図書館司書や学校司書など30名の方の参加がありました。



▲第5回講座の様子

社会の中で変遷する漫画について知見を広めることができました。

講義の終わりには、参加者間で意見交換、発表する時間も設け、講師からコメントをいただき、講座の理解をより深める活発な議論が交わされました。

参加者からは、「最近学校図書館にも増えている漫画という分野を見つめ直すことができた。」「漫画を新たな角度から見ることができた。」などの感想が寄せられました。



▲第4回講座の様子

## >>第4回子どもの読書指導者養成講座を開催しました。

子どもの読書指導者養成講座の第4回を、平成28年12月21日（木）に開催しました。今回は「“図書館員の本で選ぶ”とは」と題して、子どもの本研究所の竹中淑子氏にご講義いただきました。

初めに、個人ではなく図書館員が本を選ぶとはどういうことか、また、公共図書館の児童サービスと学校図書館の目的の違いなどをお話いただきました。続いて、児童資料の種類などについて詳しくご説明くださいました。そのうえで、子どもの本の選書の留意点と方法をご講義いただきました。自分の目できちんと読み、どういう本であるかを正確につかみ、ありのままに受け止めることが大事、

またそのためには、大人の視点と子どもの視点の違いを意識すること、できるだけ数多くの本を繰り返し読むことが重要とのお話がありました。最後に、課題図書を読んで評価表を作成するという事前課題についてご説明いただきました。評価表を書くときの注意点やポイント、評価表の必要性などをお話くださり、評価表は本を選ぶ時に必要なもの、また、読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのベースにもなることがわかりました。現在、インターネットで様々な情報が出ているが、その評価を気にせず、自分自身が一冊の本と真摯に向き合って考えることが大事とのことでした。

受講者からは、「自分で読むこと、また、図書館員の本で評価することの大切さを実感した。」「評価表の重要さを知り、しっかり続けていけば自分の力になると思った。」などの感想が寄せられ、本を評価し、選ぶことの大切さを改めて学ぶことができたようです。

今回で今年度の全講座が終了となり、講義の後に閉講式、及び、全講座に出席した21名の受講者に修了証の授与を行いました。



▲講座の様子

## >>児童外国語図書リストを紹介します。

山梨県立図書館では5,000冊以上の児童外国語図書を所蔵しています。荻野浩氏の寄付金をもとに絵本などを集めました。この資料群を言語別のリストにし、ホームページで公開しています。言語は「中国語」「朝鮮語」「英語」「ドイツ語」「オランダ語」「フランス語」「スペイン語」「ポルトガル語」「イタリア語」「ロシア語」「その他」とし、それぞれエクセルでのリストになっています。「その他」の中には、「タイ語」「ベトナム語」など13言語が掲載されているので、合計では23言語の児童外国語図書を所蔵しています。

リストには書名・著者名その他、「参考：タイトルの日本語訳」を載せています。日本語での児童図書が発行されている場合はそちらのタイトルを入れています。日本語に翻訳されていない児童外国語図書の内容の参考としていただけます。ぜひ、ご活用ください。

■URL [http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo\\_shien/shien\\_list.html](http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_list.html)